



開館30周年記念 横浜美術館 2019年度企画展スケジュールが決定!



撮影：笠木靖之

横浜美術館は2019年11月に、開館30周年を迎えます。2019年度は、開館30周年記念展として、3つの企画展を開催します。

また、横浜美術館が誇る多彩な収蔵作品を紹介する「横浜美術館2019年度コレクション展」を2期にわたり、開催します。

横浜美術館ならではの視点で展開するこれらの展覧会を、ぜひ多くの方にお楽しみいただきたく、広く報道いただければ幸いです。

※2018年10月16日時点の予定です。今後変更が生じる場合もございます。

■企画展

Meet Collection —アートと人と、美術館 (仮称)	2019年4月13日(土) — 6月23日(日)
原三溪の美術 伝説の大コレクション	2019年7月13日(土) — 9月1日(日)
オランジュリー美術館 ルノワールとパリに恋した12人の画家たち	2019年9月21日(土) — 2020年1月13日(月・祝)

■横浜美術館 2019年コレクション展

横浜美術館 2019年コレクション展 I	2019年4月13日(土) — 9月1日(日)
横浜美術館 2019年コレクション展 II	2019年9月21日(土) — 2020年1月13日(月・祝)

※この機会に広くご報道いただければ幸いです。

お問合せ先 *本日は17時まで在席しております。

横浜美術館 【公益財団法人横浜市芸術文化振興財団】 横浜市西区みなとみらい3-4-1 Tel 045-221-0300(代表)			
経営管理グループ	グループ長	古賀	Tel 045-221-0307
広報・渉外チーム	広報担当	水谷、藤井、一色、梅澤	Tel 045-221-0319

Meet Collection —アートと人と、美術館（仮称）

開館 30 周年を記念して開催する全展示室を使った企画。絵画、彫刻、版画、写真、工芸など、1 万 2 千点を超える収蔵作品から、様々なキーワードのもと、作品同士の出会い（Meet）の場を創出し、アートの自由な見方、アートとの多様な関わり方を提案します。

個性溢れる作品たち、それをとりまく人々、それらの豊かな関係を育む、磁場としての美術館一。横浜美術館にとって大きな節目となる年に、「出会い」の場としての美術館の役割と可能性を見つめなおします。

主催：横浜美術館



山村耕花《謡曲幻想 隅田川・田村》
1930(昭和 5)年
紙本着色、四曲屏風一双、各 172.0×302.8cm、
横浜美術館蔵

原三溪の美術 伝説の大コレクション



横浜において生糸貿易や製糸業などの実業で財を成した原富太郎（号：三溪、1868 [慶應 4] ~1939 [昭和 14]）。希代の古美術品コレクター、茶人、そして同時代の日本美術院の画家や彫刻家を物心両面から支援したパトロンとしても知られます。2018 年は三溪の生誕 150 年、2019 年は没後 80 年の周年に当たります。この展覧会では、三溪旧蔵の古美術や近代美術（絵画、工芸、彫刻）など約 100 点と、三溪自筆の書画、資料により、美術に対する三溪の眼差しに焦点を当てます。ゆかりの地で開催される過去最大規模の三溪の展覧会は、かつて横浜に在った伝説のコレクションをご覧ください。またとない好機となるでしょう。

主催：横浜美術館、日本経済新聞社

伝毛益《蜀葵遊猫図》中国・南宋（12 世紀）絹本着色、25.3×25.8cm、大和文華館蔵（重要文化財）※半期のみ展示

オランジュリー美術館 ルノワールとパリに恋した 12 人の画家たち



パリのセーヌ川岸に建つオランジュリー美術館は、チュイルリー公園のオレンジ温室を改装した可愛らしい美術館。画商ポール・ギョームらが収集した同館所蔵の印象派とエコール・ド・パリの作品群は、ヨーロッパ最高の絵画コレクションのひとつに数えられています。

横浜美術館開館 30 周年を記念した本展では、同コレクションから、ルノワール、セザンヌ、マティス、ピカソ、モディリアーニなど、パリを愛し芸術に魂を捧げた画家たちの名作約 70 点を紹介します。ルノワールの傑作《ピアノを弾く少女たち》をはじめ、同館のコレクションがまとめて日本で紹介されるのは 21 年ぶりとなります。芸術の都パリの“エスプリ”を横浜でご堪能ください。

主催：横浜美術館、読売新聞社、オランジュリー美術館

オーギュスト・ルノワール 《ピアノを弾く少女たち》1892 年頃 油彩・カンヴァス、116×81cm、オランジュリー美術館
©RMN-Grand Palais (musée de l'Orangerie) / Franck Raux